

交通に関するワークショップ (開催結果)

1. 交通に関するワークショップ開催報告

① 目的

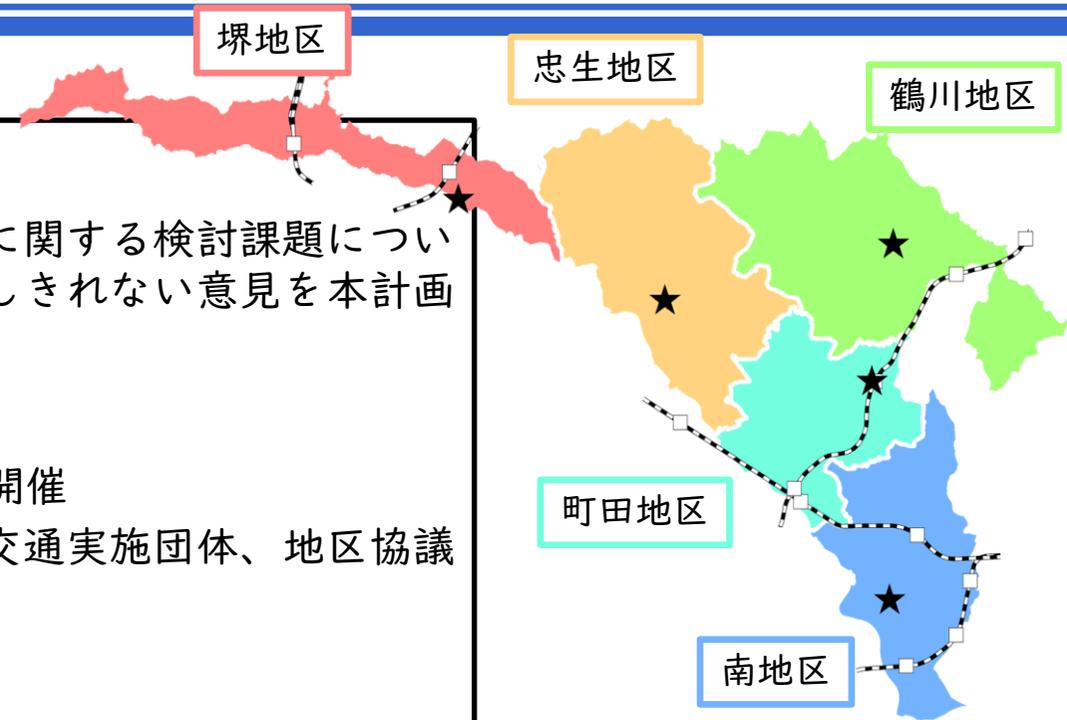
- 市内の交通に関する現状や今後の公共交通サービスに関する検討課題について、市民意識調査（アンケート調査）からでは把握しきれない意見を本計画に反映させるため開催

② 実施概要

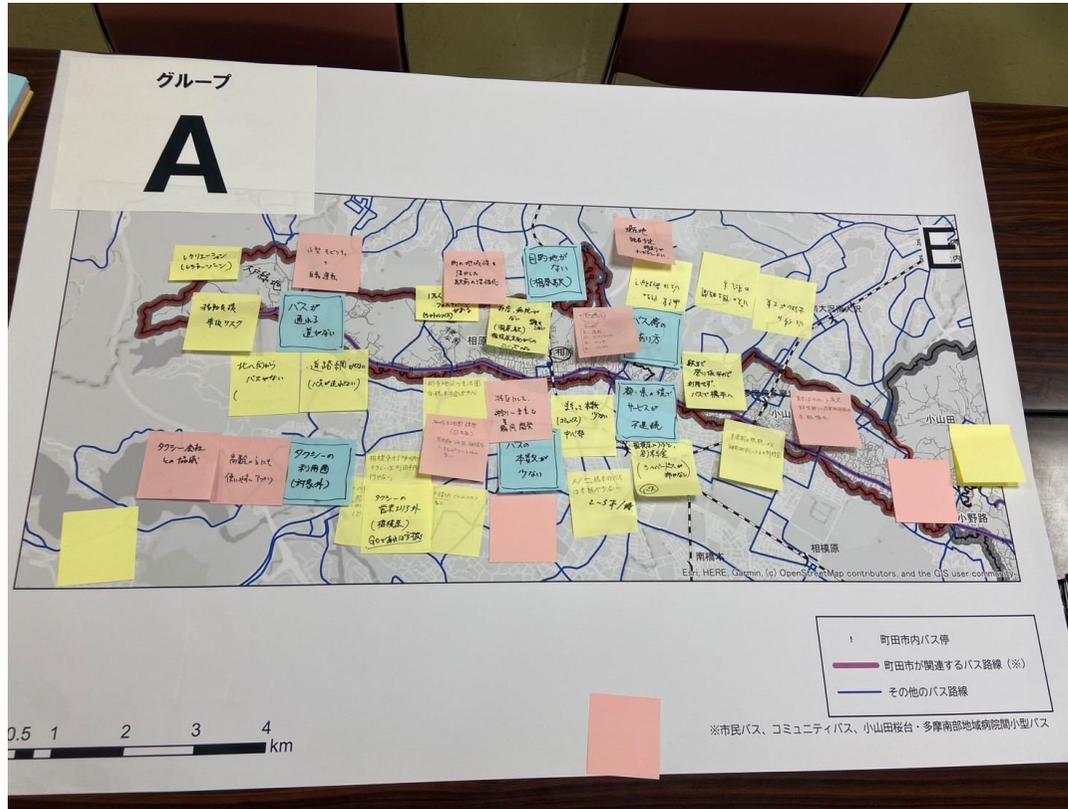
- 市内を5地区（堺、忠生、鶴川、町田、南）に分けて開催
- 広報まちだ（7／1号）による周知や市内支え合い交通実施団体、地区協議会等への声掛けで参加者を募集

③ 当日

- 事務局から公共交通の現状と課題等についての説明
- 参加者で毎日の外出と公共交通の利用について振り返り
- 「地域における交通課題を解決するためにできること」について話し合い



実施地区	会場	開催日時	参加人数
堺地区	小山市民センター	8月18日(月)	11名
忠生地区	忠生市民センター	8月19日(火)	16名
鶴川地区	鶴川市民センター	8月19日(火)	21名
町田地区	玉川学園コミュニティセンター	8月21日(木)	14名
南地区	南市民センター	8月7日(木)	17名



参加者募集 交通に関するワークショップ

2025年8月

～地域の交通を一緒に考えましょう～

町田市では『(仮称)町田市地域公共交通計画』の策定にあたり、住民の皆様のご意見をお聞きしながら、地域の特性を活かした交通のあり方を考えるためのワークショップを開催します。地域交通に興味のある方や、移動支援の活動をされている方、または活動を始めてみたい方も、ぜひ一緒に地域の交通について考えてみませんか？

プログラム (予定)

- (1) 市の交通の現状や各地域の特性等について説明【約20分】
- (2) グループに分かれてワークショップ(※)【約60分】
- (3) 全体での振り返り【約10分】

※ワークショップのイメージ

1 毎日の外出と公共交通の利用状況について振り返りましょう

2 振り返りの内容をグループで共有しましょう

3 地域における交通課題を考えてみましょう

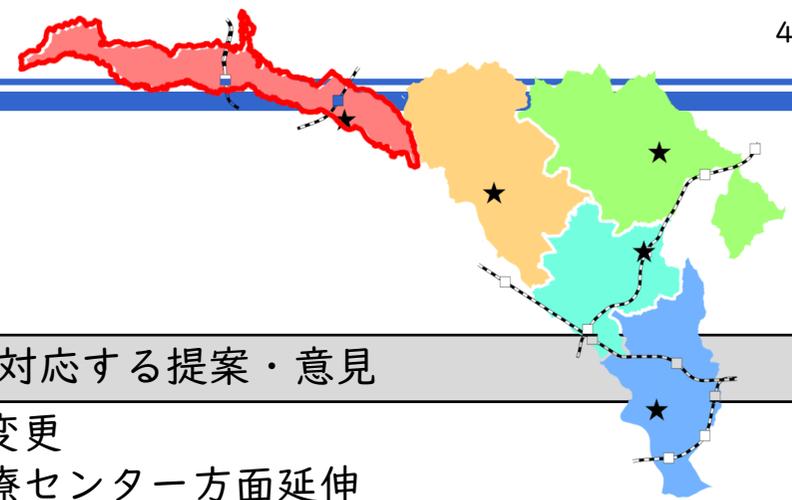
4 課題を解決するために、どのようなことができるか話し合ってみましょう

会場と日時については裏面をご覧ください。

お問合せ先・申込先 町田市 都市づくり部 交通事業推進課 (電話: 042-724-4260)

参加には事前申込が必要です

2. 地区別の実施結果

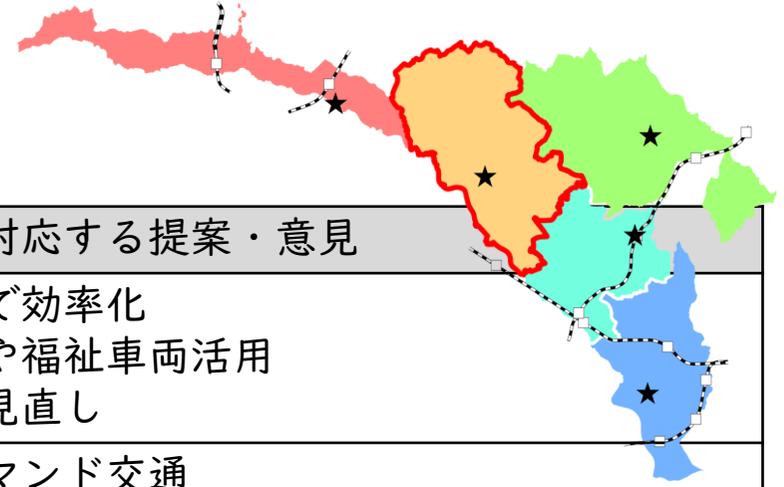


① 堺地区

地域の現状	課題認識	対応する提案・意見
渋滞による遅延、便数不足、路線不便（乗換要）、道路狭小でバス導入不可	バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちっこのルート変更 ・ バス路線復活・医療センター方面延伸 ・ バス停ROBA^(※)（屋根・空間・ベンチ・アクセス）整備 ※市民の方の造語。Roof・Open・Bench・Accessの頭文字
シルバーパス利用不可、タクシー営業制限、橋本駅中心の路線	市境を超える交通の不便	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「さがまち協定」でシルバーパス相互利用 ・ 広域生活圈施策（相模原市との特区的な取り組みなど）導入
弱い南北方向の公共交通、医療機関アクセス不足	南北交通の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩境通り・町田街道を結ぶ南北バス路線新設 ・ 公共主導によるバス運行
送迎バス活用不足、ボランティア交通支援制度未整備、安全上の懸念	地域資源・ボランティア活用不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・企業送迎バスの地域利用 ・ ボランティア交通支援制度整備（事故保障制度導入等） ・ 狭隘路に小型モビリティ・自動運転導入
乗継料金割高、高齢者の情報格差	運賃・サービス格差	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーン運賃導入 ・ MaaS/ICT^(※)に関して高齢者が利用しやすい仕組みづくり ※MaaSとは、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス ※ICTとは、情報技術（IT）に「Communication（通信）」の要素を加えた技術のことで、コンピューターやネットワーク、ソフトウェアなどの情報技術を活用し、人や物同士が情報や知識を共有・伝達する技術や方法
最寄りの生活利便施設等は橋本に集中	地域拠点不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相原駅周辺に医療・商業・若者拠点を整備

2. 地区別の実施結果

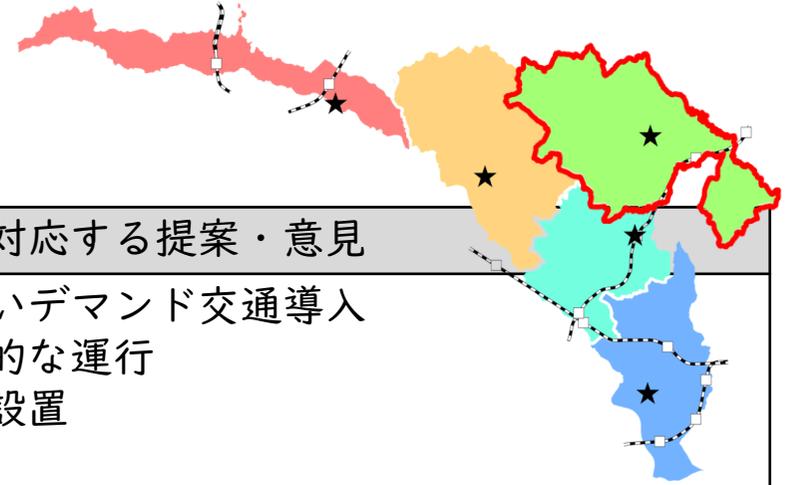
② 忠生地区



地域の現状	課題認識	対応する提案・意見
バス便数・路線不足、生活に合わない運行時間、遠いバス停	バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転バス導入で効率化 ・ 大学スクールバスや福祉車両活用 ・ 団地のバスの経路見直し
免許返納後移動制限、割高なタクシー運賃	高齢者の外出制約	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドアツードア型デマンド交通 ・ シルバーパスのタクシー版 ・ 買い物支援・送迎 ・ 通院について多様な移動手段の検討 ・ 過疎地事例を参考に研究 ・ 外出の自由を保障する公共交通整備
ボランティア交通のドライバー不足・車両不足、安全上の懸念	ドライバー不足・車両不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバー・車両の確保 ・ ドライバー・車両確保の仕組みづくりと横展開 ・ 保険・責任ルールの整備
自転車走行レーン不足、安全性課題	自転車利用環境の整備不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行レーン整備 ・ 電動自転車シェア
バスと自転車の連携不足	公共交通と他の移動手段との連携不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクル&バスライド推進 ・ 団地駐車スペース活用
医療・商業施設不足、慢性的な道路渋滞	弱い生活基盤 道路渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・商業施設整備を行った上での移動支援 ・ 環境に配慮した交通基盤の整備

2. 地区別の実施結果

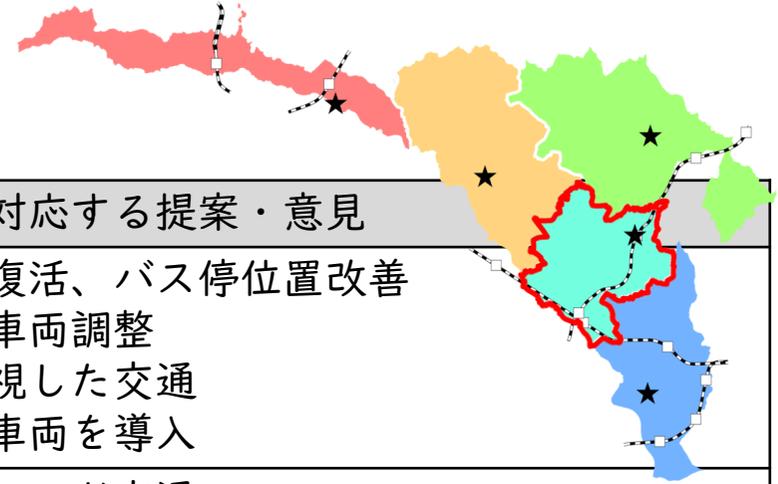
③ 鶴川地区



地域の現状	課題認識	対応する提案・意見
バス減便、渋滞による遅延、バス停までの坂道の存在、遠いバス停、バス停設備不足	バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドアツードアに近いデマンド交通導入 ・ バス小型化で効率的な運行 ・ バス停に接近表示設置 ・ バスの利用促進
ボランティア交通のドライバー不足、移動支援制度が未整備	ドライバー不足・担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共ライドシェアのドライバー育成制度拡充 ・ シニア層ドライバー活用 ・ 行政による移動支援のルール整備・保険加入支援 ・ 多主体の連携で支え合い交通推進
バス停まで歩行不可、免許返納後の移動制限	高齢者の外出制約	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドアツードア型デマンド交通導入 ・ 移動支援活動の拡充 ・ 歩行困難高齢者向け交通サービスの提供
若年層免許保有率低下、通学・ベビーカー移動困難	若者・子育て世代の移動制約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者・子育て層を対象とした移動支援 ・ 通学・通勤・子育てニーズに対応する送迎手段整備
施設ごとに送迎が分散、空き車両未活用	既存資源の分散利用・非効率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設ごとの送迎を共通プラットフォームで見える化 ・ 送迎待合スペース・車両の停めやすい場所整備 ・ 施設車両を交通資源として地域活用

2. 地区別の実施結果

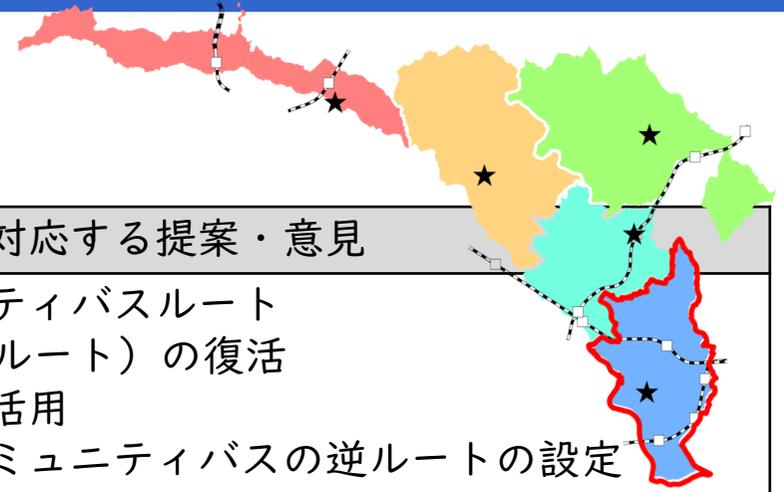
④ 町田地区



地域の現状	課題認識	対応する提案・意見
バス減便、本数不足、バス停不便、運行時間の空白、満員	バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玉ちゃんバス便数復活、バス停位置改善 ・ 雨天満員時増便、車両調整 ・ 病院アクセスを重視した交通 ・ 狭隘路に小型福祉車両を導入
免許返納後移動制約、バス乗降の不便、座席不足	高齢者の外出制約	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドアツードア型デマンド交通 ・ 低床バス改良・小型福祉車両普及 ・ バス停及び周辺環境整備（ベンチ・手すり・横断歩道） ・ 座席確保の工夫
ボランティア確保困難、車両不足	ドライバー不足・担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が車を提供しシニア運転者とマッチング ・ 移動支援活動の有償化、資金や制度面の支援拡充
捕まえにくいタクシー、割高なタクシー運賃	タクシー不足と経済的負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド交通とタクシーとの複合的な対応
移動販売の設置場所確保、外出機会として買い物重視	買い物支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動スーパー普及 ・ 買い物・外出手段の確保
狭い自転車通行空間、駐輪場不足	自転車利用環境の整備不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行レーン整備 ・ 駐輪場整備
バス停までの安全性懸念・意識面（思いやり）の弱さ	交通以外の環境課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停及び周辺環境整備（ベンチ・手すり・横断歩道） ・ 案内・情報提供の工夫（バス停時刻表にQRコード） ・ 思いやり・福祉教育で意識改革（高齢者のバス利用のしづらさに対する）

2. 地区別の実施結果

⑤ 南地区



地域の現状	課題認識	対応する提案・意見
バスの路線・本数減少、交通不便地域の拡大、運行時間の偏り	バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止したコミュニティバスルート（かわせみ号町田ルート）の復活 ・ 施設の小型車両の活用 ・ まちっこ・地域コミュニティバスの逆ルートの設定 ・ 自動運転バス導入
坂道や荷物運搬困難、免許返納後移動制約、自治会低加入率による情報周知不足	高齢者の外出制約	<ul style="list-style-type: none"> ・ シニアカーのシェアや助成 ・ 免許返納後も自立して移動できる仕組み ・ 移動支援の情報伝達・利用促進方法の改善
ボランティア交通のドライバー不足、小規模自治会運営困難	ドライバー不足・担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政によるドライバー募集 ・ シニア層のドライバー活用
支え合い交通とタクシーの境界不明確、移動支援団体同士の活動範囲重複	不明確な制度・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担・棲み分け整理 ・ 広域的な課題（地域・関係機関・サービス間等）の共有化
脆弱なサービス間の連携	公共交通と他の移動手段との連携不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「助け合いサービス」「ちょこっとサービス」の見える化・共有化 ・ 送迎サービス・介護タクシー、移動支援を組合せ交通結節点まで移動 ・ 行政×民間の協力体制整備
効率的運行や利用支援の停滞	ICT・MaaS活用不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配車アプリ活用（タクシーGO） ・ MaaSで移動と地域活動を統合

3. 5地区まとめ

・各地区で共通する「課題認識（具体的な内容）」及び「主な提案」等を下表に示す。

課題認識	地域の現状	主な提案	特徴的な提案
バスの利便性低下	<ul style="list-style-type: none"> 減便 路線不足 渋滞による遅延 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティバスやまちっこの増便・復活・ルート変更 自動運転バス導入 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩境通り・町田街道・国道16号を結ぶ南北バス路線新設（堺）
高齢者等の外出制約	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納後移動制限 バス停までの坂道の負担 バス停及び周辺環境整備不足 乗降や座席確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> シニアカーシェア・助成 ドアツードア型デマンド交通 バス停及び周辺環境整備（ベンチ・手すり・横断歩道） 座席確保の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地の取組を参考に研究（忠生） 若者・子育て層を対象とした移動支援（鶴川） 意識改革（思いやり福祉教育）（町田） 移動支援の情報伝達・利用促進方法の改善（南）
ボランティア交通の担い手・ドライバー不足	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー不足 車両はあっても人材なし 制度未整備 	<ul style="list-style-type: none"> 行政による募集説明会 シニア層活用 保険・責任ルール整備 有償化で持続性確保 	<ul style="list-style-type: none"> 市が車両提供しシニアとマッチング（町田） 共通プラットフォームで送迎見える化（鶴川）
タクシー不足と経済的負担	<ul style="list-style-type: none"> 捕まえにくく割高 	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド交通とタクシーとの複合的な対応 配車アプリ活用（タクシーGO） シルバーパスのタクシー版 	
公共交通と他の移動手段との連携不足	<ul style="list-style-type: none"> サービスが分散 役割重複 広域連携不足 ICT活用遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> MaaS導入 配車アプリ連携 送迎+介護タクシーとの組み合わせ サービス見える化 	<ul style="list-style-type: none"> 広域生活圏施策（相模原市との特区的な取り組みなど）導入（堺） サイクル&バスライド推進（忠生）
医療・商業施設等地域基盤不足	<ul style="list-style-type: none"> 医療・商業施設不足 弱い生活機能 	<ul style="list-style-type: none"> 生活基盤整備と移動支援組み合わせ 買い物支援（移動スーパー・移動販売） 	